



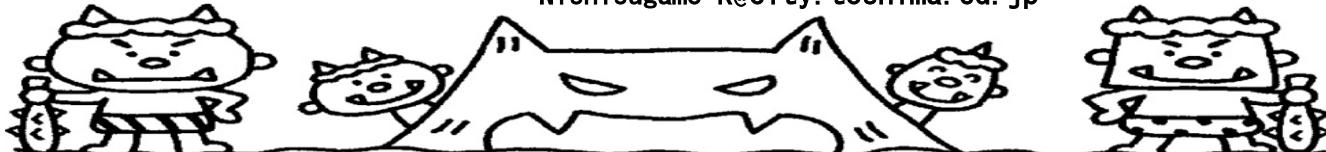
# 西巣鴨幼稚園だより にしすようでなにしよう? 2月号

令和8年1月20日発行

豊島区立西巣鴨幼稚園

園長併任 後藤 大輔

Nishisugamo-k@city.toshima.ed.jp



## 『年間を通しての交流活動』

幼児教育推進係長 野村 友彦

新しい年がスタートして、早くも1月下旬に入りました。現在、園行事「子ども会」に向けて準備を進めているところです。「劇」「歌」「合奏」の練習を進めたり、道具を作ったりと自分たちの「子ども会」作りに向かってアイデアを出し合いながらよく頑張っています。ぜひ、本番を楽しみにしていてください。

令和7年度は、様々な交流活動を行ってきた1年でした。同じ年の西巣鴨第三保育園ゆり組のお友達とは「すぐわくプログラム」の活動をきっかけにして、お互いの園を訪問して一緒に活動することができました。そのような活動の中で「一緒の小学校だね！」という会話も聞こえてきました。この取組をともに進めてくださった園長先生はじめ担任の先生方に感謝を申し上げます。西巣鴨小学校とは、全部の学年・学級と交流することができました。特に2年生と5年生とは複数回の交流により、小学校生活への期待を膨らませて頂きました。小学校入学への不安や心配を和らいで頂き、小学校の児童の皆さんと先生方に本当に感謝をしております。地域の皆様には、区民ひろば西巣鴨の「敬老の集い」、西巣鴨新田町会の「御輿・山車」の体験と貴重な経験をさせて頂きました。地域の子供達を見守り育む温かいお気持ちを実感させて頂きました。また、多くの外部団体の皆様をお迎えすることができたのも幸せでございました。本物の音楽、ダンス、即興表現、美術製作、マナー講習、防犯意識の育成と多岐に渡る活動は、今後の子ども達の生活を豊かにすると思いました。園外活動も本園の立地を活用して様々な遠足や見学を実施してきました。最近では昨日「連合作品展覧会」を鑑賞してきました。他の区立幼稚園や区立小学校の作品を鑑賞することにより情操を豊かにできたと思います。3月には、「お別れ遠足」を企画しております。本園を修了するまで、多彩な体験をして「ピカピカの1年生」に送り出そうと思います。



【連合作品展覧会】

交流活動や園外行事は、日常の保育活動をベースに、本園の子供達の世界を広げることができました。すべての交流活動、外部人材の活用、園外活動では、常に事前事後指導と連動して日常の保育活動に生かしてまいりました。残り少ない保育活動も最後まで教職員一同全力で指導に取り組んで参ります。

最後に残念なお知らせです。今年度は入園希望者が少なかったため4歳児「ももぐみ」の学級編制はできませんでした。来年度も入園希望者が少ないと4歳児「ももぐみ」の学級編制はできなくなりました。寂しいですが、令和8年度の本園は、園児数0名ということになりました。

本当に残り少ない3学期でありますが、引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

## 2月はこのような指導をします

ほし組

- 学級の友達と一緒に劇を作り上げる過程を楽しみ、子ども会で一つのことをみんなでやり遂げた達成感を味わえるようにします。
- 就学への期待をもち、見通しをもって自分たちで生活を進められるように指導します。